

お茶の水女子大学での経験

カリン・ネウマンノヴァー (チェコ・カレル大学)

実は、来日する飛行機の中で、ずっとあることを心配していました。それはカレル大学では日本語の教師が帰国されたので、長期間、日本語の先生が居なかったからです。そのため、去年は、日本語で話す機会がほとんどありませんでした。日本語が分かるかどうか、私の意思を正確に伝えられるかどうか、心配しないではいられませんでした。幸いなことに、空港でお茶の水女子大学の留学生であるイレネさんと偶然出会いました。そしてイレネさんがは日本に来たことがあったから地下鉄でも迷わずに、問題なく大山寮に到着しました。その後、少しずつ心配が減り、新しい経験を積めるのが楽しみになってきました。



私のは大山寮での部屋を見てとても嬉しかったです。理由は、高校の時から自分の部屋が欲しかったからです。しかし、大山寮では規則が厳しかったです。例えば門限があります。ヨーロッパでは、そんなことはどこにもありません。しかし、時間とともに慣れました。

選んだ科目は、主に日本語に関する科目でした。例えば、中級漢字、中級文法、中級作文などでした。そして、日本の地理と社会について科目も選びました。先生は皆、プロ意識の高い方達ばかりで、いつも親切で頼りになります。同級生は色々な国から来ました。例えば中国、イタリア人、フィンランド人、フランス人などでした。授業でよく私達の国の風俗習慣や教育制度について話し合いました。そして日本についてだけではなく、他の国についてももっと知るようになりました。女性だけの学校で勉強するのは、私にとって初めてです。共学より静かな雰囲気があると思うのでいい経験になると思います。



そして一番期待していたのは、日本での観光でした。私は主に美術や建築に興味を持ち、その為、色々な美術館や博物館を訪れました。2~3例を挙げると、根津美術館と山種美術館と東京国立近代美術館が大好きになりました。建築に関しては、例えば東京カテドラル聖マリア大聖堂と中銀カプセルタワーが私の心にいつまでも印象が深く残っています。東京でいつも行かない街を歩いてみた時、印象深い高円寺と下北沢がとても気に入りました。あそこには小さい商店が多く並んでいて特別な良い雰囲気があります。そして、友達と古着屋を訪れたのはとても楽しかったです。そのほか、例えば高円寺の60年代の音楽を演奏する「U.F.O. CLUB」というバーの雰囲気は忘れられません。

もうすぐ国に帰らなければならないのはとても残念です。見られなかった美しい所が沢山あります。しかし素晴らしい経験でした。私はこの機会に非常に感謝しています。